

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています



2022年
10月1日発行
No.508

October

10

特集

「一生よく見える目」をつくる!

かれいおうはんへんせい

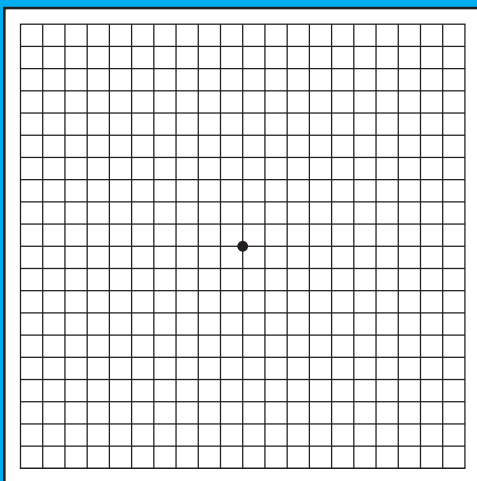
加齢黄斑変性を防いで、
生涯、視力を失わないためには P-1

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 眼科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト 視能訓練士 P-6



未来に向けて共に歩む
聖隷浜松病院60周年

片目をかくして
チェックしてみましょう
30cmほどはなして、
片目で黒い点を見て
ください。
線がゆがんだり、真
ん中が暗く見えたりし
ていませんか?



加齢黄斑変性チェックシート(アムスラーチャート)

病院理念 私たちは利用して下さる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

「一生よく見える目」をつくる!

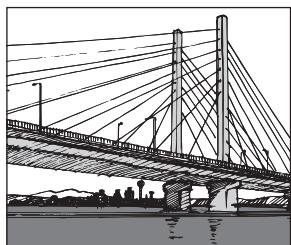
かれいおうはんへんせい

加齢黄斑変性を防いで、生涯、視力を失わないためには

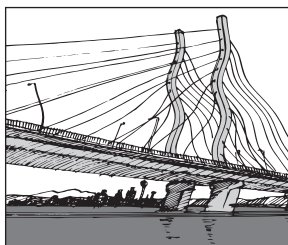
平 均寿命が延びて人生100年時代と言われます。しかし、重要なのは健康寿命で、なかでも視力を失えば人生の晩節は非常につらくなります。「一生よく見える目」でいるためには、日頃から自分の目に関心をもち、異常があれば適切に対処することです。眼の老化と言えは老眼を思い浮かべますが、片目を手で塞いで、片目ずつ見え方をチェックしてみてください。もし、ものがゆがむ、真ん中が暗い、あるいは隅々まではっきり見えなければ、それは単なる老眼ではなく、視力を失いかねない病気のサインかもしれません。



▲真ん中が暗く見える



▲正常な見え方

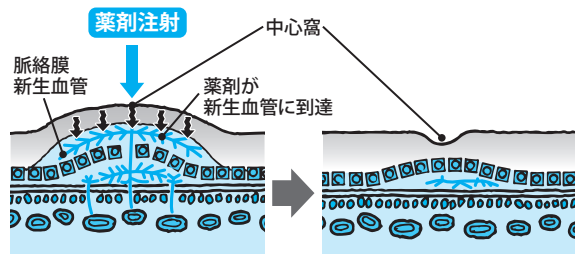


▲ゆがんで見える

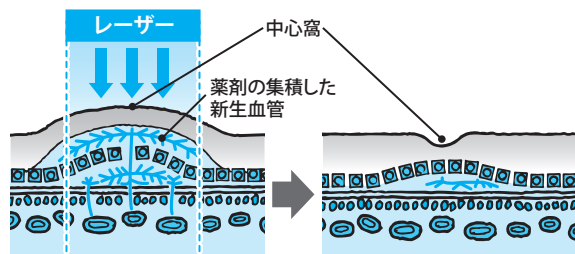
高 齢者の眼の病気で多いのは白内障、緑内障ですが、最近、増加しているのが加齢黄斑変性です。50歳以上の日本人の50～60人に1人が加齢黄斑変性を患っていると推定され、2023年の世界の患者数は2億人を超えるといわれます。

加 齢黄斑変性は視力に大切な網膜の真ん中が壊れる病気で、見たいところが見えないため、QOL(生活の質)が大きく低下します。なかでも日本人に多い^{しんしゅつがた}滲出型加齢黄斑変性は比較的進行が早く、反対の目が見えているからと、先延ばししているうちに悪くなります。一昔前はよい治療法がありませんでしたが、2004年にレーザー光線と特殊な薬を組み合わせた光線力学療法、2009年からは血管内皮増殖因子阻害剤治療(抗VEGF治療)が登場し、視力改善も望めるようになりました。とは言え、進行してしまうと改善は不可能なので、早期治療が重要です。また、加齢黄斑変性の最大の要因は老化ですので、一旦、発症すると生涯に渡って病気をコントロールしていかなければなりません。一生付き合う覚悟で、我慢強く治療を続けましょう。

抗VEGF治療



光線力学的療法



加 年齢黄斑変性を予防するには、食生活改善、生活の中のさまざまな光(テレビ、スマートフォン、照明など)との上手な付き合い、禁煙、血圧や動脈硬化の管理などが重要です。いずれもちょっとした気遣いのできることで、ぜひ、正しい知識をもって毎日を過ごしましょう。

文責:眼科 部長 尾花 明

さらに詳しい情報などを、YouTubeの“聖隷浜松病院チャンネル”で配信しています。ぜひ、ご覧ください。

YouTube 聖隷浜松

検索



インフォメーション

10月は乳がん月間、臓器移植普及推進月間

病院玄関をライトアップ (点灯時間 17:00~21:00)

乳がんのシンボルカラー ピンクにライトアップ

期間 10月3日(月)~10月13日(木)

「プレスト・アウェアネス」って?

自分の乳房の状態に日頃から関心を持ち、乳房を意識して生活する、女性にとって非常に重要な生活習慣のことです(乳房を意識する生活習慣)。乳がんは早期発見により適切な治療が行われると、良好な経過が期待できます。ご自宅で、セルフチェックからはじめてみましょう。そして、タイミングを逃さないように受診しましょう。

移植医療のシンボルカラー グリーンにライトアップ

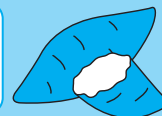
期間 10月14日(金)~10月31日(月)

「グリーンリボンキャンペーン」って?

移植医療を通して、臓器を提供してもいいという人と移植を受けたい人が結ばれ、よりたくさんのいのちが救われる社会の実現に向けた、『移植医療』の理解促進、普及、及び啓発につながる取り組みの総称です。10月16日は、家族や大切な人と「移植」のこと、「いのち」のことを話し合い、お互いの臓器提供に関する意思を確認する日「グリーンリボンデー」です。

◆ 今月の色: さつまいも

校庭に湧きたつ歓声 きっとまた走れる日にも
—その日を目指して、つらいリハビリも乗り越えて



新任 医師紹介

小児外科
タナカ ケイチロウ
田中 圭一郎
東京慈恵会医科大学
(1998年卒)



リハビリテーション科
アリガ カエ
有賀 可恵
高知大学
(2014年卒)



呼吸器外科
エンドウ タクミ
遠藤 匠
山形大学
(2019年卒)



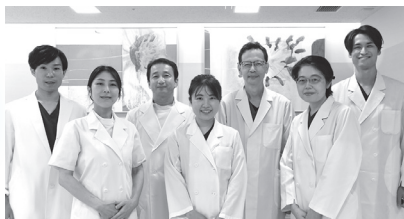
循環器科
ナカヤマ マオ
中山 真魚
藤田医科大学
(2019年卒)



リハビリテーション科
アダチ ダイスケ
安達 大祐
日本医科大学
(2020年卒)



眼科



Happiness through better vision,
your eye our focus.

——楽しい人生のために、皆さんの目を守ります——

地域の方々の「一生よく見える目」を守るために2つの連携を大切にしています。1つは当科のスタッフ間の連携です。近年の眼科学の目覚ましい進歩により、どの疾患も高いレベルの診療が要求され、眼科医には高い専門性が必要です。当科は専門分野の異なる複数の医師が互いに連携しながら皆さんの診療にあたります。初診の方は、紹介状をご持参のうえ、一般外来を受診してください。その上で必要に応じて専門外来（黄斑外来、緑内障外来、斜視・弱視外来、ロービジョン外来など）で治療を行います。また、手術は医師の専門性を生かして取り組んでいます。2つ目は他の医療機関との連携です。当科では手術など高度な技術と設備を要する診療を手掛け、治療によって病気が落ち着いた方はかかりつけ医で診ていただきます。適切な病診連携により、ハイレベルで効率的な地域医療が可能になり、患者さん、当科スタッフ、地域の医療施設の3者の相互理解と協力で医療が成り立ちます。これからも2つの連携で皆さんの目を守っていきたいと思っています。

文責：眼科 部長 尾花 明（写真後列右から2番目）



視能訓練士



「見える」を守る
視機能の専門家

視能訓練士の業務は、視力・視野・眼球運動・網膜などの「視機能検査」です。他にも見えにくい方に拡大鏡の選定などを行う「ロービジョン」や斜視や弱視の方に両眼でものを見る力や視力の発達を促す「視能訓練」があります。視機能が発達する年齢は限られており、適切な時期に視能訓練を行うことが重要です。

眼科や眼形成眼窩外科には、複視（ものが二重に見える状態）の患者さんが多く受診されます。複視は、眼を動かす神経が麻痺したり、眼の周りの骨が折れたりすることで生じます。遠近感が分かりづらくなるため、生活の質を低下させます。

視能訓練士は、このような患者さんの「見える」を守るために視機能検査や視能訓練を行い、医師が診断や治療を進めるサポートをしています。



文責：眼科検査室 倉田 真也子（写真前列右端）・守山 貴宣（写真前列中央）



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ

紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として7,700円(税込)を別途負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝日を除く)

再診の方へ

予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、紹介状は不要です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ 産科外来(直通) ☎053-474-3067

(月～金曜 14:00～16:45/祝日を除く)

面会の方へ

現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
発熱/咳/痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院



日本医療機能評価機構



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 岡 俊明